

第6期上下水道事業経営委員会（第3回）の主な質疑

令和7年9月12日（金）14時00分～15時00分

上下水道局2階201会議室

質 疑	答 弁	
【令和6年度決算について】		
A委員	<p>高岡市の利益率の予測、他市の工事の積算状況、又昨今の物価上昇等を踏まえると、料金体系の見直し（「用途別」から「口径別」）の検討は否めない。「口径別」の料金体系とはどのようなものか。</p>	<p>上下水道局 「口径別」料金体系とは、使用する「水道メーター」の口径の大きさにより、基本料金に差をつける料金体系であり、水道メーターの口径が大きくなるほど、多額の維持管理費がかかることから、「負担の公平性」と「料金体系の明確性」が確保できるもの。全国的にも多くの水道事業体が採用している。</p>
	<p>長期金利は上がってきていると思うが、それらにも配慮した経営をしていかなければならない。長期金利に関しての考えは。</p>	<p>上下水道局 高岡市においては、現在、「用途別」料金体系を採用している。例として、「事業所等（業務用）」や「一般家庭等（一般用）」に分かれている。「口径別」料金体系については、口径の大きさによって維持管理費等の負担が違うので、合理的な料金体系だと考えている。</p>
	<p>「口径別」料金体系は、全国的にはどの程度採用しているのか。</p>	<p>上下水道局 令和6年度末ベースの全国比率だと、「口径別」が約6割、「用途別」が約3割、「その他」の料金体系が約1割である。</p>
B委員	<p>口径によって、基本料金が変わるとのことだが、それは使用者が選択できるものなのか。</p>	<p>上下水道局 建物の構造などによる水の需要によって、設置すべき口径が決まるため、水を多量に使用する場合は、小さい口径を選択いただけるものではない。</p>
	<p>「口径別」料金体系は、全国的にはどの程度採用しているのか。</p>	<p>上下水道局 「基本料金」だけでなく、「従量料金」に関しても、他市事例や、今後の更新計画等を踏まえ、バランスを見ながら検討していかなければならないと考えている。</p>

C委員	水道料金等は、生活していく上では、切り離せないものである。料金体系を見直すことを検討することだが、独立採算とはいえ、単に値上げするのではなく、サービス内容を見直す、一般会計から補助を受ける等、検討しなければいけないのではないか。また、ビジョンの中で、どのように高岡市民の役に立つのか考えていくのが、行政の役目だと考える。	上下水道局	耐震化、老朽化対策の国庫補助の拡充要望や、周辺自治体との連携事業の中で、コスト縮減等、様々なことを検討していかなければいけないと考えている。その上で、ビジョンの策定の中で、最終的に決めていかなければいけない。
		上下水道局	五位配水区再編事業においては、広域事業として交付税措置のあるメニューを活用し、一般会計からの繰入を受けるなど、料金以外の財源を積極的に活用すること基本に進めている。
【新高岡市上下水道ビジョンについて】			
D委員	「災害に強い給排水設備の工夫（水道メーターより自宅側に水栓と止水弁を取り付ける工夫）」を、水道使用者に推奨していくとのことだが、公共施設などは、個人宅よりも早く実行できると思うので、検討していただきたい。 また、個人宅の場合（当該工夫を行った場合）、個人で負担しなければならないということだが、費用は、どのくらいかかるのか。	上下水道局	試算したところ、既設物に改造する場合、約10～15万円ほどであった。ただ、新築の際に施工する場合は、それより安価になると想定している。
C委員	DXについて、昨今、ドローン技術がめまぐるしく発達するなど、手軽に業務効率化できるものが多くあると思う。ビジョン策定にあたりどのように考えているか。	上下水道局	現在、漏水調査では仕切弁に音波技術を活用したセンサーを100か所以上設置するなど、DXを活用した業務効率化を意識している。先進事例として、砺波市では、衛星を活用した漏水調査を行っており、高岡市においても砺波市の結果を注視しながら、検討していきたい。
E委員	「建築物公共施設 基礎の貫通部等における管路破断（上水・下水）の防止方法」について、他市での施工事例は確認できているのか。材質として、通常、塩ビ管が基本の中、蛇腹部分のみ、材質などが変わってしまうと、メンテナンス性が下がることになると思われるので、施工事例が集まるとよいと考える。	上下水道局	製品として、流通しているのは、確認できている。しかし、この工法、手法が、正解なのか、市の建築部門と意見交換する等、分析している段階である。
B委員	高岡市上下水道ビジョンは、高岡市総合計画等、その他計画と関係しているものなのか。	上下水道局	「高岡市総合計画」の下位計画に位置しており、計画年数も合わせてある。
	液化化対策として、「地下水位低下工法」等、射水市では、実証実験を行っており、震災対応で話題であると思うが、上下水道の工事等においては、何か影響はあるのか。	上下水道局	様々な埋設物がある中、下水道管等は、特に深い位置にあるが、「地下水位低下工法」の集水管は、それよりもさらに深い位置に「推進工法」で施工するものであり、現在行っている復旧工事においても影響はない。